

会議名称	第185回評議員会（平成29年度第1回）	
日時	平成29年6月16日（金）17:00～18:00	
場所	中央病院 3階視聴覚室	
出席者	別添出席者名簿のとおり（37名）	
議 題	報告事項	<ol style="list-style-type: none"> 平成29年度医学会役員体制について 平成28年度決算及び監査報告について 平成28年度診療科別分科会の開催実績について
	協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 平成29年度医学会予算（案）について 平成29年度診療科別分科会の開催状況について 医学会名誉会員の推薦について 第6回岩手県立病院総合学会（第49回岩手県立病院総合学会）について 第50回岩手県立病院総合学会について 第51回岩手県立病院総合学会について 平成29年度春季学術集会について
	その他	<ol style="list-style-type: none"> 50周年誌について
議 事 要 旨	<p>【会長挨拶】 お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。例年、医療局より補助金を320万円交付されていたが、ルールを少し変更して繰越額無しという予算・決算としたいということについてご意見をいただきたい。編集委員会が終わるまでの間に、支障がない部分で報告を行った。分科会の開催は皆様の活発な活動により過去最多の52回の開催があった。春季学術集会の講師推薦がないことについてもご協力いただきたい。よろしく申し上げます。</p>	
	<p>【報告事項】 1 平成29年度医学会役員体制について 事務局より説明。役員の変更は以下のとおり。（人事異動による所属、職名の変更は資料のとおり。） ○評議員 ・山田病院 平泉 宣先生 → 宮本 伸也先生 ・東和病院 畠山 知規先生 → 松浦 和博先生 ・九戸地域診療センター 中村 正先生 → 菅原 敏先生 ○分科会代表世話人 ・総合診療 千厩：下沖 収先生 → 中部：山田 哲也先生 ⇒承認。</p>	
	<p>2 平成28年度決算及び監査報告について 中央病院評議員 相馬委員（監査委員）より監査報告。また、事務局より平成28年度医学会決算について報告。 ⇒承認。</p>	
	<p>3 平成28年度診療科別分科会の開催実績について 事務局より資料に沿って説明。過去最多の52回の開催となった。開催1回あたりの執行額が例年より低額となった要因は会員もしくは県立病院職員が講師である講演会が多く開催されたためである。 ⇒承認。</p>	

会議名称	第185回評議員会（平成29年度第1回）
日時	平成29年6月16日（金）17:00～18:00
場所	中央病院 3階視聴覚室

【協議事項】

1 平成29年度医学会予算（案）について

事務局より資料に沿って説明。まず、これまでの予算・決算について補助金の交付元である医療局医師支援推進室より予算については前年度繰越額を含めること、決算については翌年度繰越額が発生することはおかしいのではないかと指摘を受けた。繰越額が発生する場合、補助金が不要との見方もできるため、今年度予算について協議した。結果、これまでは補助金320万円を満額交付されていたが、補助額の上限を320万円として精算の形で運営を行っていくこととしたい。よって、今年度より収入については前年度繰越額を0円として、支出については繰越額0円として編成を行った。なお、平成28年度決算において繰越となった約177万円については、補助金が交付されるまでの間の資金として使用していくこととしたい。（医療局との協議において、補助金が申請～交付されるまでの間に3か月以上の期間があり、その間、医学会の資金が0円では活動ができないことから補助金が交付されるまでの間の資金として運用することを確認済み。）

⇒使用した分を補助金として補填してもらうという形である。繰越額である約177万円は当年度の予算編成とは別の会計で特別予算ということで管理していくことではいかがか。補助金を申請せずに年会費を上げるということも考えたが、昭和62年より現在の年会費5,000円を継続していることから、安易に年会費を上げることは難しいと判断し、精算の形で補助金の交付を受けたい。

⇒このことに関連するのだが、来年度は50周年の記念の年となる。記念誌を30周年の際に作成している。編集委員会でも話題になったと思うが、記念誌を作成する際はさらに費用がかかる。医療局に別枠で補助金の申請を行わなければならないのであれば、申請が必要と思う。この場合は、この繰越金を使用することとなる。

⇒自主研修費の費用が計上されていないのではないか。

⇒自主研修費予算は別会計・別予算となっている。資料9ページの合計額が自主研修費の実績額となる。

⇒承認。

2 平成29年度診療科別分科会の開催状況について

事務局より資料に沿って説明。今年度第1回の分科会が5月1日に開催され、現在のところ8回の開催予定となっている。

（伊藤会長より）

⇒とある分科会の開催で出席者の大半以上が会員以外であり、司会・進行も会員以外の方が行った分科会の開催があった。分科会の開催は会員が主体でなければならない。共催・院内研修までは認めるが、会員以外の方が企画・運営を行うことはあってはならない。趣旨に反しないように医学会主体で開催していただきたい。補助金は400万円が上限額となっている。聴衆が少なかったのかどうなのかわからないが、開催申込書からは読み取れない部分が多い。このような事態が多ければ、開催について審査基準を厳しくしなければならないことから本来の趣旨に従って開催していただきたい。あくまでも主体は医学会であり、お金の供給源ではないということ再度認識していただきたい。

⇒県立病院以外の場所で開催されている分科会について、会員の参加者が少ないことがある。これに関してはきっちりと参加者名簿を提出してもらい、医学会主体であることを確認していただきたい。この分科会の現在の仕組みのおかげで病院の規程では招くことが難しい先生の講演を聴くことができている。とても貴重なことなので、きっちりと確認していただきたい。

⇒報告書の見直しも含めて、しっかりと確認していく。

⇒承認。

会議名称	第185回評議員会（平成29年度第1回）
日時	平成29年6月16日（金）17:00～18:00
場所	中央病院 3階視聴覚室
	<p>3 医学会名誉会員の推薦について 事務局より資料に沿って説明。名誉会員推薦基準を満たした会員は以下の4名。 ○評議員をおおむね10年以上担当した会員 ・九戸地域診療センター 理事兼副地域診療センター長 中村 正先生 ○評議員、学会委員、編集委員（査読委員含む）並びに分科会代表世話人のそれぞれの任期の通算が10年以上であった会員 ・中央病院 参与 鈴木 博先生 ・中央病院 参与兼沼宮内地域診療センター長 川村 実先生 ・千厩病院 病院長 下沖 収先生 ⇒承認。名誉会員のお知らせ及びこれからの医学会総会等の案内をこれまでの名誉会員同様に案内することとする。</p> <p>4 第6回岩手県立病院総合学会（第49回岩手県立病院医学会総会）について (1) 概要 野崎副会長より説明。 開催日時 ・総合学会及び懇親会：平成29年9月2日（土） ・親睦ゴルフ：平成29年9月3日（日） 会場 ・総合学会：マリオス、アイーナ（開会式は8:50～の予定。） ・懇親会：メトロポリタン盛岡 NEW WING（18:00～の予定） ・親睦ゴルフ：南部富士カントリークラブ（スタートは9:22） テーマ 『地域になくてはならない病院 ～人を育て、医療の質・経営の質を高める～』 内容 I パネルディスカッション テーマ「多職種協働による人材育成と病院の質向上 ～各職域からの提案と実践～」 座長：(医学会（中央病院副院長）、高橋 弥栄子（副総合学会長（中部病院総看護師長）) パネリスト：野崎 英二（医学会（中央病院統括副院長）、河野 聡（事務局長会（中部病院事務局長）、外館 幸子（看護研究学会（久慈病院総看護師長）、勝馬田 康昭（薬剤師会（一戸病院薬剤科長）、佐藤 一浩（リハビリテーション療法士会（宮古病院リハビリテーション技師長）) II 特別講演 『生命（いのち）輝かそう岩手県立病院』 座長：望月 泉（総合学会長（中央病院長）) 講師：邊見 公雄 先生（公益社団法人全国自治体病院協議会長） III 昼食【医学会総会／医師連総会】 IV 学会長講演 『タイトル未定』 座長：伊藤 達朗（副総合学会長（大船渡病院長）) 講師：望月 泉（第6回岩手県立病院総合学会 会長（中央病院長）) V 各部門学会 懇親会（18:00～）</p>

会議名称	第185回評議員会（平成29年度第1回）
日時	平成29年6月16日（金）17:00～18:00
場所	中央病院 3階視聴覚室
	<p>⇒承認</p> <p>(2) 演題登録一覧 野崎副会長より資料に沿って説明。 ⇒まだまだ演題登録数が足りない。演題登録期限を6月21日（水）正午まで際延長したことから会員である院内の医師へさらなる協力をお願いします。</p> <p>(3) 各病院等への開催案内（案） 事務局より資料に沿って説明。 ⇒承認。</p> <p>5 第50回岩手県立病院医学会総会（第6回総合学会）について 伊藤会長より説明。資料35ページの担当病院が中央病院となっているが、誤りである。正しくは釜石病院が担当である。訂正をお願いします。 ⇒開催予定日が9月2日（日）、9月9日（日）が候補となっているが、例年9月1日近辺で県の総合防災訓練が開催されていることから、現時点では9月9日（日）を第1候補としている。総合防災室においては、来年度の開催については現在未定であり10月に入ってから計画を立てるということであった。また、前夜祭の際に50周年記念祝賀会も行うこととしたい。周知対象を広くしたい。 ⇒承認。</p> <p>6 第51回岩手県立病院医学会総会について 伊藤会長より説明。担当病院は宮古病院としたい。退官される先生に総会長を務めていただくということを考慮すると、沿岸が続くが宮古病院長の村上先生にお願いをしたい。 ⇒承認。</p> <p>7 平成29年度春季学術集会について 伊藤会長より資料に沿って説明。講師推薦について推薦がなかった。沖縄県立中部病院 感染症内科部長の成田先生を研修医セミナーと午後の講演の講師として推薦したい。岩手医科大学のご出身で海外留学の経験もある先生である。いかがか。 ⇒承認。もう一人をどうするか。文化人でも良いが、謝礼のことを考えると医療関係者が良いと思う。 ⇒それでは、もう一人の講師については事務局よりメールにて再度評議員へ講師推薦の依頼を行うこと。</p> <p>【その他】 相馬編集委員長より。50周年誌の発行について、前回は30周年誌を作成している。50周年誌の作成となると1～50年分の業績を30周年誌同様の仕様で作成すると650万円の費用がかかる。30周年誌の続きということで31～50年分の業績集を作成すると350万円の費用がかかる。このことを受け、業績集を作成すべきかどうかという点を編集委員会で協議した。業績集には論文名、筆者及び共著者名が記載されている。費用もかかり、会員へ配布しても読んでもらえるかどうかを疑問が残った。そこで、ホームページで自由に閲覧できるようなシステムはどうかという声があがった。いかがか。 ⇒お金をかけて作成する必要はないと思う。ホームページ掲載が良いと思う。 ⇒作成するか、しないかを検討する必要がある。本日のご意見をもとに編集委員会で再度検討することとした。なお、ホームページ掲載の場合の仕様も検討していく。 ⇒ホームページを基本として検討をお願いします。</p>